

令和7年度第1回神奈川県地域医療支援センター運営委員会 次第

日時 令和7年12月9日(火)
18時00分から20時00分

方法 オンライン形式(ZOOM)
配信会場：神奈川県総合医療会館2階
テレビ会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 協議事項

- ア 会長選出について
- イ 神奈川県の医師確保について(資料1)
- ウ 地域医療支援センターのイベントについて(資料2)

(2) 報告事項

- ア キャリアコーディネーターの業務状況について(資料3)
- イ 特別地域連携プログラムの連携先候補施設選定に係る考え方について(資料4)

(3) その他

3 閉 会

神奈川県地域医療支援センター運営委員会 出席者名簿

◎ 委員

令和7年12月9日 オンライン開催

| NO | 所属・役職 | 氏名 | 備考 |
|----|------------------------------------|--------|----|
| 1 | 神奈川県立病院機構 理事長 | 阿南 英明 | |
| 2 | 学校法人東海大学医学部 教授 | 小澤 秀樹 | |
| 3 | 三浦市立病院 総病院長 (全国自治体病院協議会神奈川県支部長) | 小澤 幸弘 | |
| 4 | 学校法人聖マリアンナ医科大学 医学部長 | 加藤 智啓 | |
| 5 | 公益社団法人神奈川県病院協会 副会長 | 窪倉 孝道 | |
| 6 | 公益社団法人神奈川県医師会 理事 | 小松 幹一郎 | |
| 7 | 北里大学病院 病院長補佐 | 佐藤 武郎 | |
| 8 | 公立大学法人横浜市立大学 医学部長 | 金子 猛 | 欠席 |

◎ 地域医療支援センター

| NO | 所属・職名 | 氏名 | 備考 |
|----|--|-------|----|
| 1 | センター長 (平塚市民病院名誉院長) | 石山 直巳 | |
| 2 | 副センター長兼県キャリアコーディネーター (神奈川県健康医療局医務担当部長) | 山崎 元靖 | |
| 3 | 副センター長 (神奈川県健康医療局保健医療人材担当課長) | 伊東 大介 | |
| 4 | 横浜市立大学 キャリアコーディネーター | 稲森 正彦 | |
| 5 | 自治医科大学 キャリアコーディネーター | 貝原 正樹 | |

◎ 事務局

| NO | 所属・職名 | 氏名 |
|----|--------------------------------|--------|
| 1 | 神奈川県保健医療部医療整備・人材課課長代理 (保健人材担当) | 由井 志穂 |
| 2 | 神奈川県保健医療部医療整備・人材課人材確保グループ 副主幹 | 太田 裕貴 |
| 3 | 同 主任主事 | 小林 美保子 |
| 4 | 同 主任主事 | 山本 翔太 |
| 5 | 同 主事 | 佐藤 紘大 |
| 6 | 同 主事 | 原田 将太郎 |

資料 1

神奈川県の医師確保状況について

神奈川県 健康医療局 保健医療部
医療整備・人材課 人材確保グループ
令和7年12月9日

Kanagawa Prefectural Government

目次

- 1 神奈川県の医師確保の状況について (P.2)
- 2 県内の専攻医採用状況について (P.20)
- 3 今後の医師確保の取り組みの方向性について(P.33)

Kanagawa Prefectural Government

1 神奈川県医師確保の状況について

1 神奈川県医師確保の状況について

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)

【医師の確保・養成】

① 医師養成課程を通じた医師の確保・偏在対策

【取組】

- [県内4大学医学部に臨時定員増](#)として、[修学資金の貸与と併せ](#)県内への一定期間の従事を要件とする「[地域枠](#)」を設置するとともに、[自治医科大学による医師の養成](#)を実施
- 医師の偏在対策を進めるため、[地域枠医師や自治医科大学卒業医師の配置方針の見直し](#)を実施するほか、[横浜市立大学に寄附講座を設置](#)
- 地域枠や自治医科大学の医学生・医師のキャリア形成を支援するため、県が設置する「[地域医療支援センター](#)」にキャリアコーディネーターを配置
- 高校生等を対象とした地域枠や自治医科大学の魅力を発信する合同説明会を実施

【成果】

- [地域枠医師や自治医科大学卒業医師の派遣](#)を通じて、医師の確保・偏在対策に寄与した。

1 神奈川県医師確保の状況について

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)

【医師の確保・養成】

② 臨床研修医及び専攻医の確保

【取組】

- 臨床研修医の確保を図るため、関係団体や県内の臨床研修病院等と連携し、医学生に向けた合同説明会の開催
- 臨床研修病院の募集定員の配分にあたり、医師の確保を特に図るべき区域に多く配分するルールの設定
- 専攻医の確保を図るため、医師不足診療科の魅力を発信するとともに、関係団体や専門研修プログラム基幹病院と連携し、臨床研修医や医学生等を対象とした合同説明会等の開催

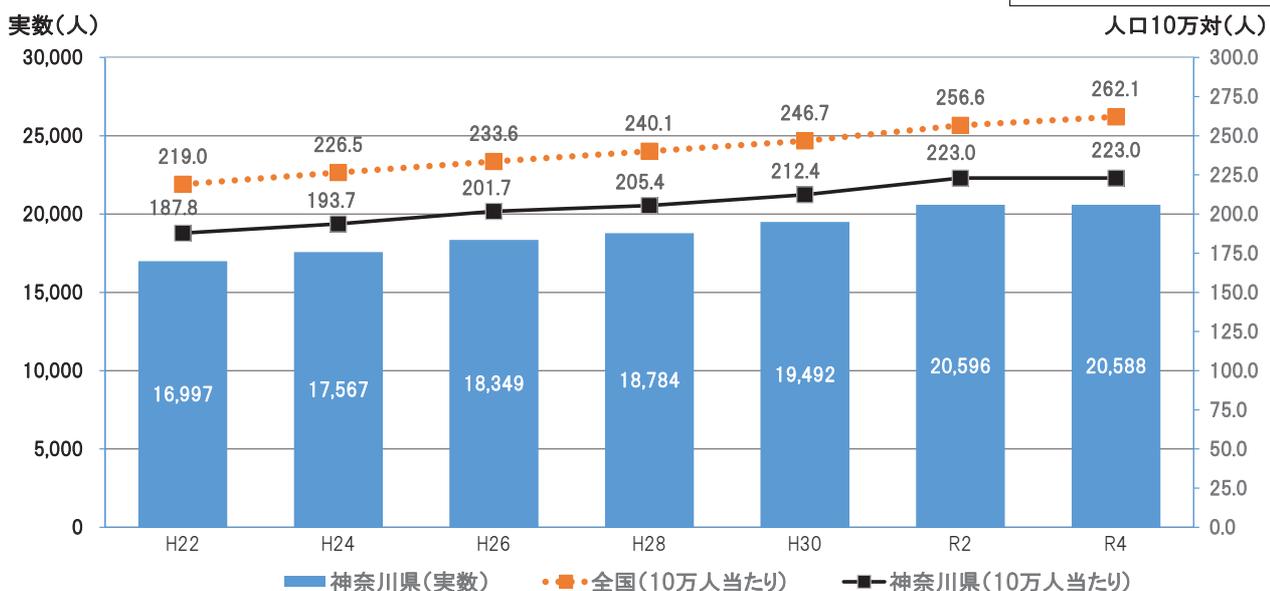
【成果】

- 臨床研修医は募集定員に対する採用数はいわゆるフルマッチとなるとともに、専攻医の採用数も増加傾向となっており、医師の確保や偏在対策に寄与した。

4

【参考】医療施設従事医師数の推移

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)



- 本県の医師数（医療施設従事者）は年々増加
- 10万人対医師数は223.0人（全国40位）と全国平均を下回っている

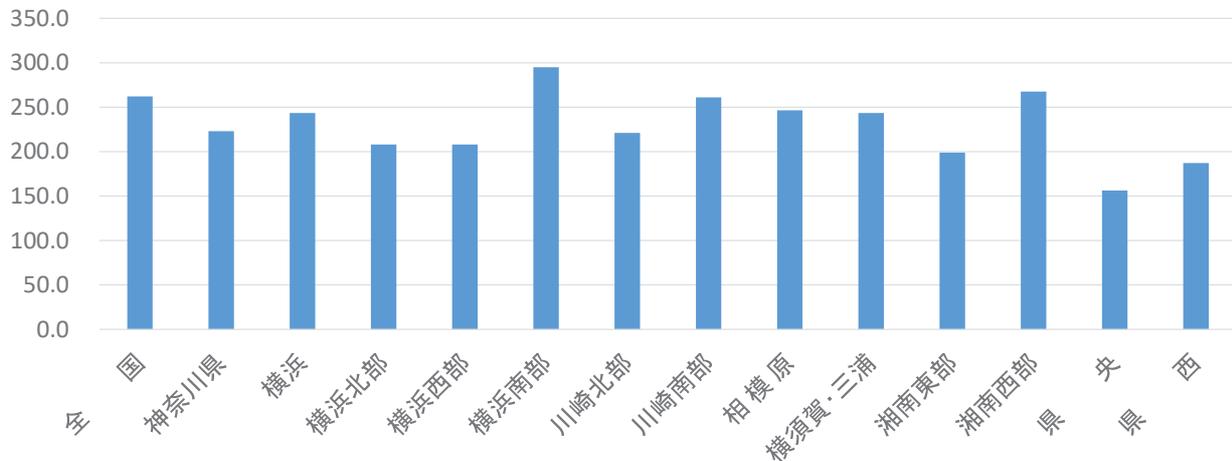
(出典)医師数:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
人口:総務省「人口推計」「国勢調査」

5

【参考】人口10万人当たり医師数の推移（二次保健医療圏別）

二次医療圏別10万人当たり医師数
(令和4年12月末時点)

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)

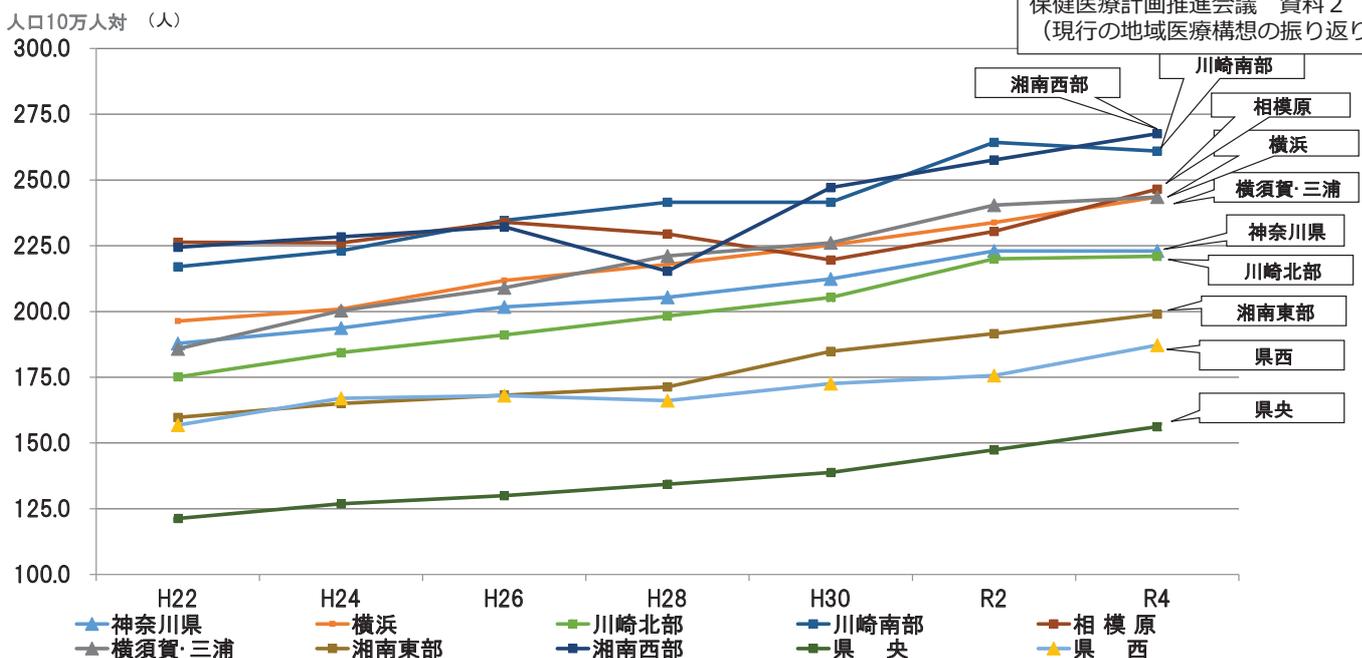


➤ 横浜南部及び湘南西部以外は全国値を下回っている

(出典)医師数:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
人口:総務省「人口推計」「国勢調査」

【参考】人口10万人当たり医師数の推移（二次保健医療圏別）

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)



➤ 二次保健医療圏域で人口10万人当たり医師数は増加傾向

(出典)医師数:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
人口:総務省「人口推計」「国勢調査」

【参考】地域枠医師の配置方針（令和6年度見直し）

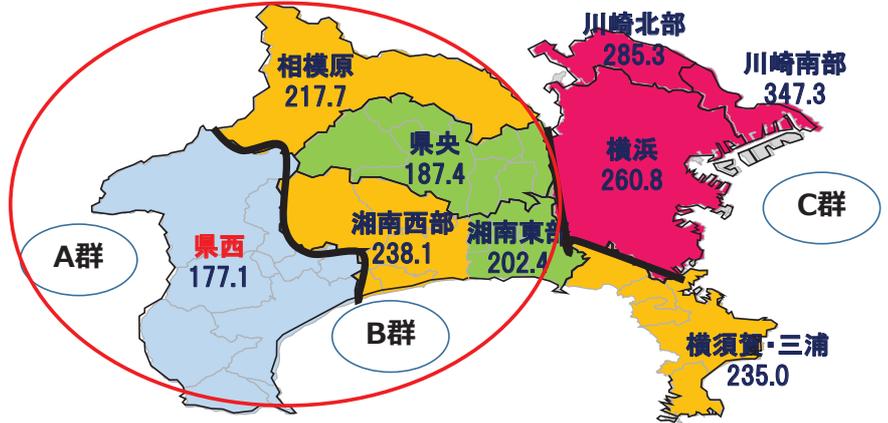
R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議
資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)

| 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
|-----------------------|-----|------------------------|-----|-----|---|-----|-----|-----|
| 臨床研修 | | 専門研修 | | | 地域医療実践 | | | |
| 臨床研修病院 (県内の臨床研修病院) | | 専門研修基幹施設（県内の基幹施設、連携病院） | | | 地域A、B群（大学病院本院以外の病院） （医師偏在指標上、全国平均を下回る二次医療圏） | | | |

【令和5年に示された医師偏在指標での状況】

| |
|----------------|
| 多数区域(上位33.3%) |
| 多数区域・全国平均を下回る |
| 医師少数でも多数でもない区域 |
| 少数区域(下位33.3%) |

※ 医師偏在指標は3年おきに変更されるため、指数の変動状況によっては派遣地域が変更される場合があります。



【参考】自治医卒医師の義務年限における新たな配置について

〇〇レーション（現行）

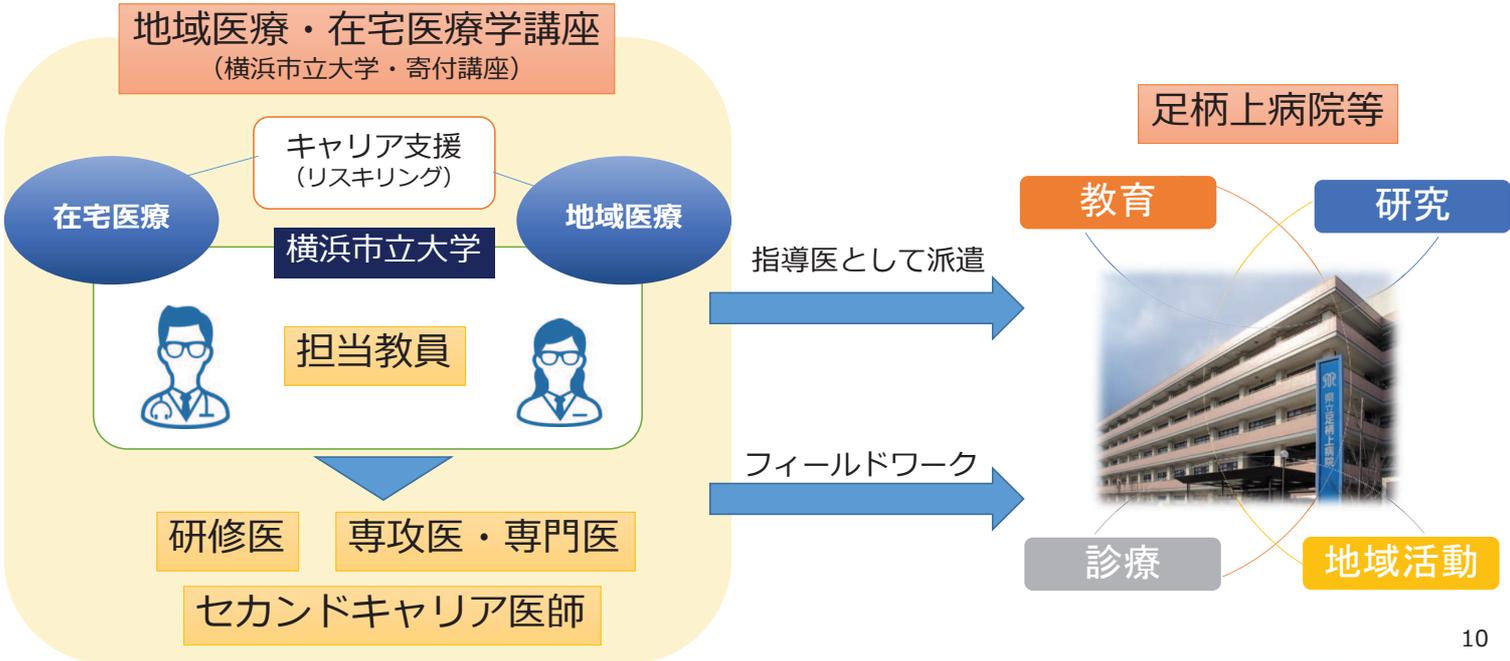
| 卒後年 | 1～2年目 | 3～5年目 | 6～9年目 |
|-----|---------|---------------|----------|
| 勤務先 | 初期臨床研修 | 後期研修（専門研修） | 地域派遣 |
| | 県立足柄上病院 | 県立病院等/保健福祉事務所 | 公立公的医療機関 |

〇〇レーション（新）

| 卒後年 | 1～2年目 | 3～4年目 | 5～6年目 | 7～9年目 | |
|-----|----------------------------|---|-------------------------------|----------------------------------|----------|
| 勤務先 | 臨床研修 | 地域医療研修 | 地域派遣 | 公立公的医療機関等勤務 | |
| | 横須賀市立総合医療センター (旧うわまち病院) | 県立足柄上病院 総合診療科 (総合診療専門研修) (週4日) | 公立診療所 (週4日) | 臨床コース | 公衆衛生コース |
| | | 保健福祉事務所 (週1日) | 保健福祉事務所/ 公立公的医療機関 (週1日) | 公立公的医療機関 | 保健福祉事務所等 |
| | | | | 最大4か所の診療所に自治医を同時派遣可能* *詳細は調整中 | |

【参考】寄附講座の概要について

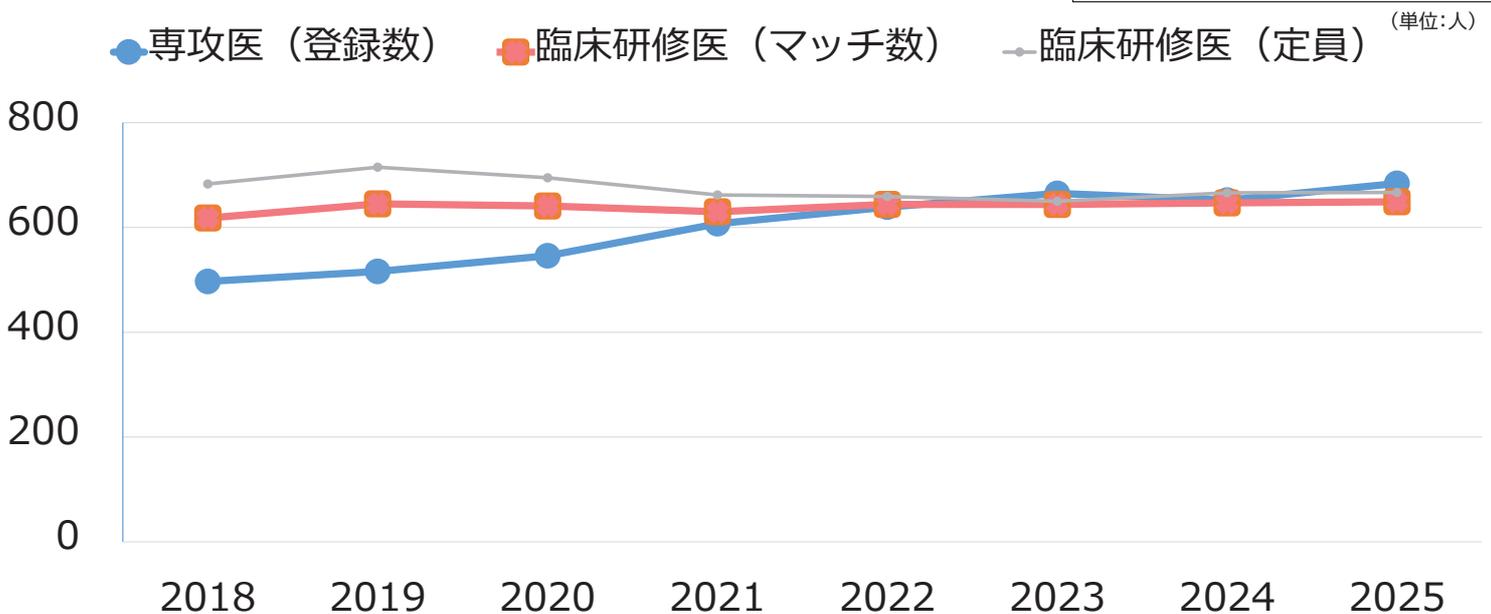
横浜市立大学に設置する寄附講座のフィールドワーク先として足柄上病院等へ医師の派遣



10

【参考】本県の臨床研修医・専攻医の採用状況等の推移

R7.9.30 令和7年度第2回
保健医療計画推進会議 資料2
(現行の地域医療構想の振り返り)

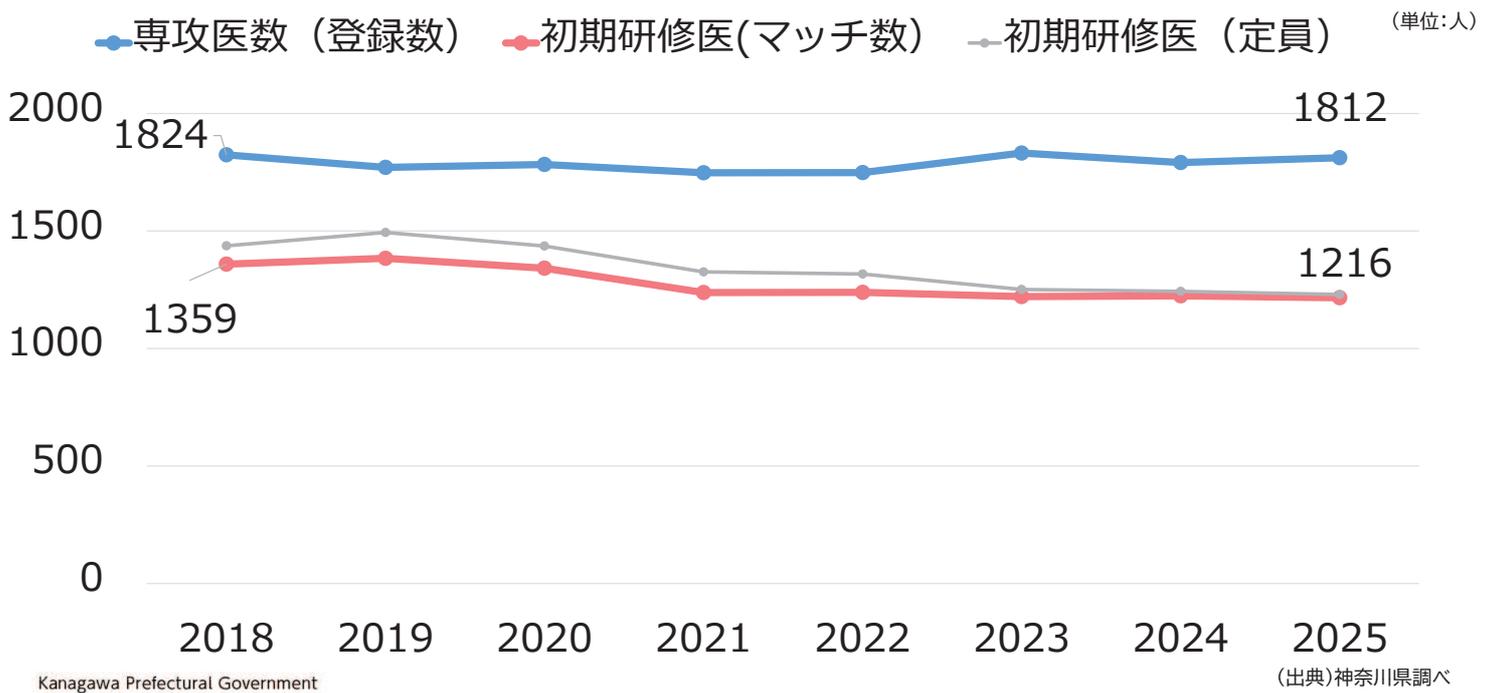


- 臨床研修医は定員に対してほぼフルマッチ
- 専攻医の採用数は増加傾向

(出典)神奈川県調べ

11

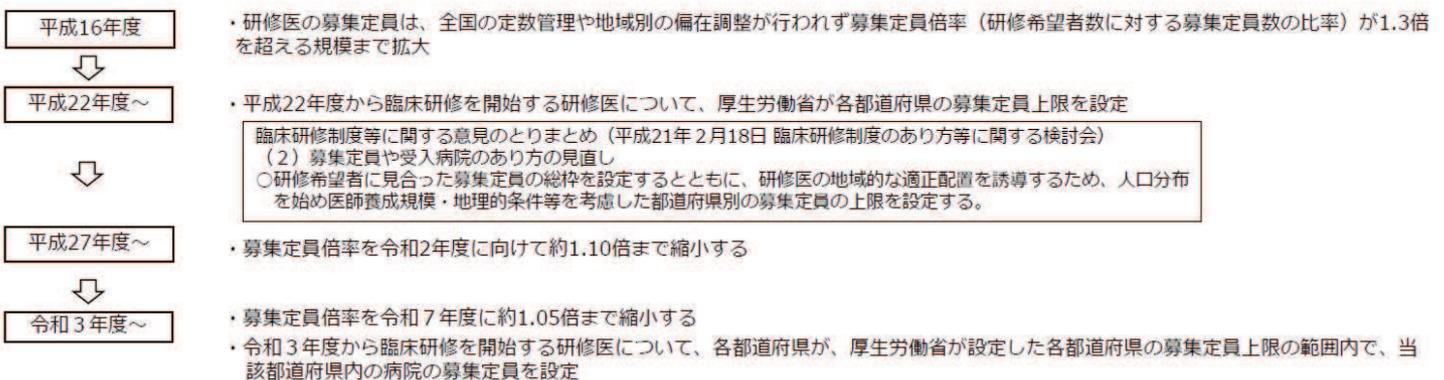
【参考】東京都の臨床研修医・専攻医の採用状況等の推移



臨床研修医の募集定員について

R6.11.27 第4回
医師臨床研修部会 資料1-1

- 臨床研修の必修化後、研修医の募集定員が研修希望者の1.3倍を超える規模まで拡大し、研修医が都市部に集中する傾向が続いた。
- このため、平成22年度研修から各都道府県の募集定員上限を設定し、研修医の偏在是正を図っている。



研修医の募集定員数、研修希望者数、募集定員倍率（募集定員数÷研修希望者数）の推移



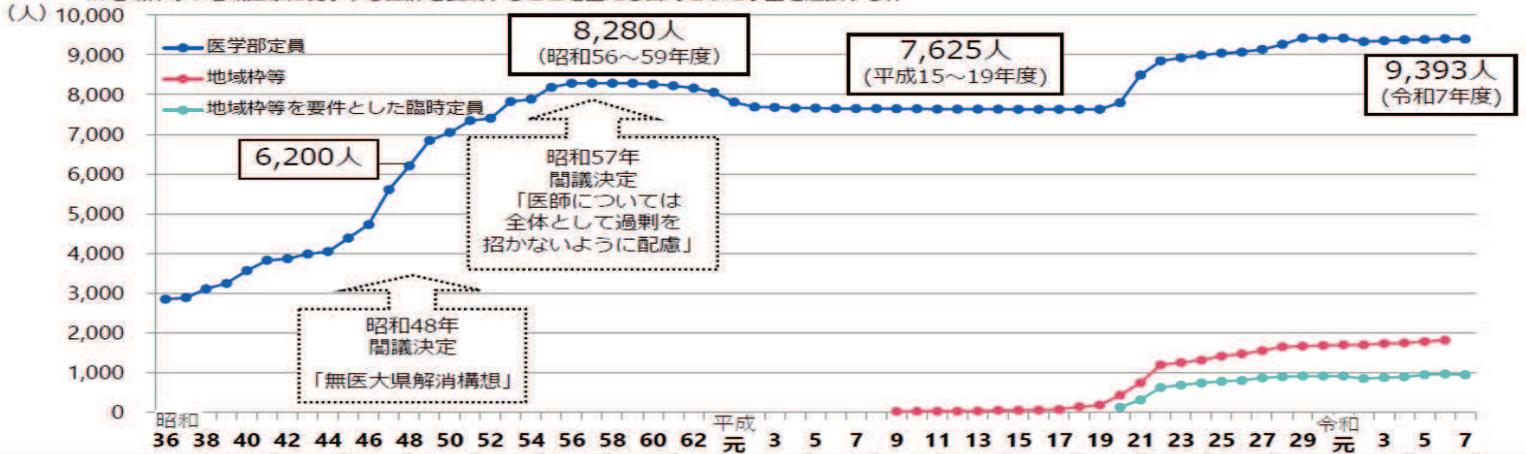
医学部入学定員と地域枠の年次推移

第9回医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会
令和7年1月21日

資料1
一部改

- 平成20年度以降、医学部の入学定員が過去最大規模となっている。
- 医学部定員に占める地域枠等*の数・割合も、増加してきている。(平成19年度:173人(2.3%) → 令和7年度:1,837人(19.8%))

*地域枠等:地域医療に従事する医師を養成することを主たる目的とした学生を選抜する枠



| | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 医学部定員 | 7,625 | 7,793 | 8,486 | 8,846 | 8,923 | 8,991 | 9,041 | 9,069 | 9,134 | 9,262 | 9,420 | 9,419 | 9,420 | 9,330 | 9,357 | 9,374 | 9,384 | 9,403 | 9,393 |
| 医学部定員(自治医科大学を除く) | 7,525 | 7,683 | 8,373 | 8,733 | 8,810 | 8,868 | 8,918 | 8,946 | 9,011 | 9,139 | 9,297 | 9,296 | 9,297 | 9,207 | 9,234 | 9,251 | 9,261 | 9,280 | 9,270 |
| 地域枠等以外の医学部定員 | 7,452 | 7,375 | 7,750 | 7,660 | 7,681 | 7,687 | 7,635 | 7,607 | 7,591 | 7,623 | 7,763 | 7,743 | 7,731 | 7,640 | 7,632 | 7,636 | 7,611 | 7,595 | 7,556 |
| 地域枠等 | 173 | 418 | 736 | 1,186 | 1,242 | 1,304 | 1,406 | 1,462 | 1,543 | 1,639 | 1,657 | 1,676 | 1,689 | 1,690 | 1,725 | 1,738 | 1,773 | 1,808 | 1,837 |
| 地域枠等の割合 | 2.3% | 5.4% | 8.8% | 13.6% | 14.1% | 14.7% | 15.8% | 16.3% | 17.1% | 17.9% | 17.8% | 18.0% | 18.2% | 18.4% | 18.7% | 18.8% | 19.1% | 19.5% | 19.8% |
| 地域枠等を要件とした臨時定員 | 0 | 118 | 304 | 617 | 676 | 731 | 770 | 794 | 858 | 886 | 904 | 903 | 904 | 840 | 865 | 885 | 938 | 955 | 933 |
| 地域枠等を要件とした臨時定員の割合 | 0% | 1.5% | 3.6% | 7.1% | 7.7% | 8.2% | 8.6% | 8.9% | 9.5% | 9.7% | 9.7% | 9.7% | 9.7% | 9.1% | 9.4% | 9.6% | 10.1% | 10.3% | 10.1% |

*自治医科大学は、設立の趣旨に鑑み地域枠等からは除く。

(地域枠等及び地域枠等を要件とした臨時定員の人数について、文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

【参考】令和2年度医師の需給推計について

R2.8.31 医療従事者の需給に関する検討会
第35回 医師需給分科会 資料1

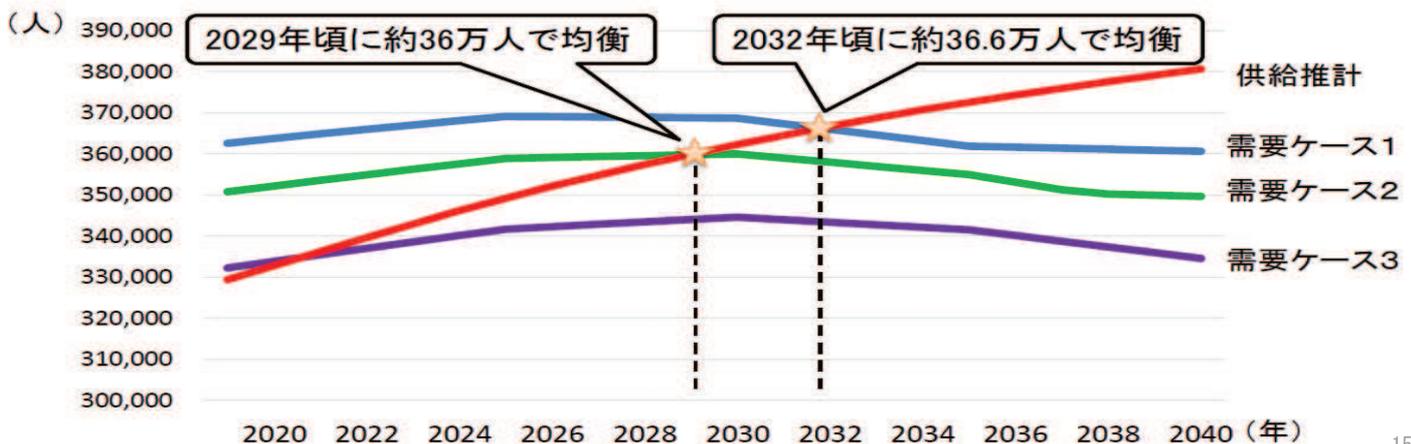
医師需給は、労働時間を週60時間程度に制限する等の仮定をおく「需要ケース2」において、2023年(令和5年)の医学部入学者が医師となると想定される2029年(令和11年)頃に均衡すると推計される。

・供給推計 今後の医学部定員を令和2年度の9,330人として推計。

※ 性年齢階級別に異なる勤務時間を考慮するため、全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比を仕事率とし、仕事量換算した。

・需要推計 労働時間、業務の効率化、受療率等、一定の幅を持って推計を行った。

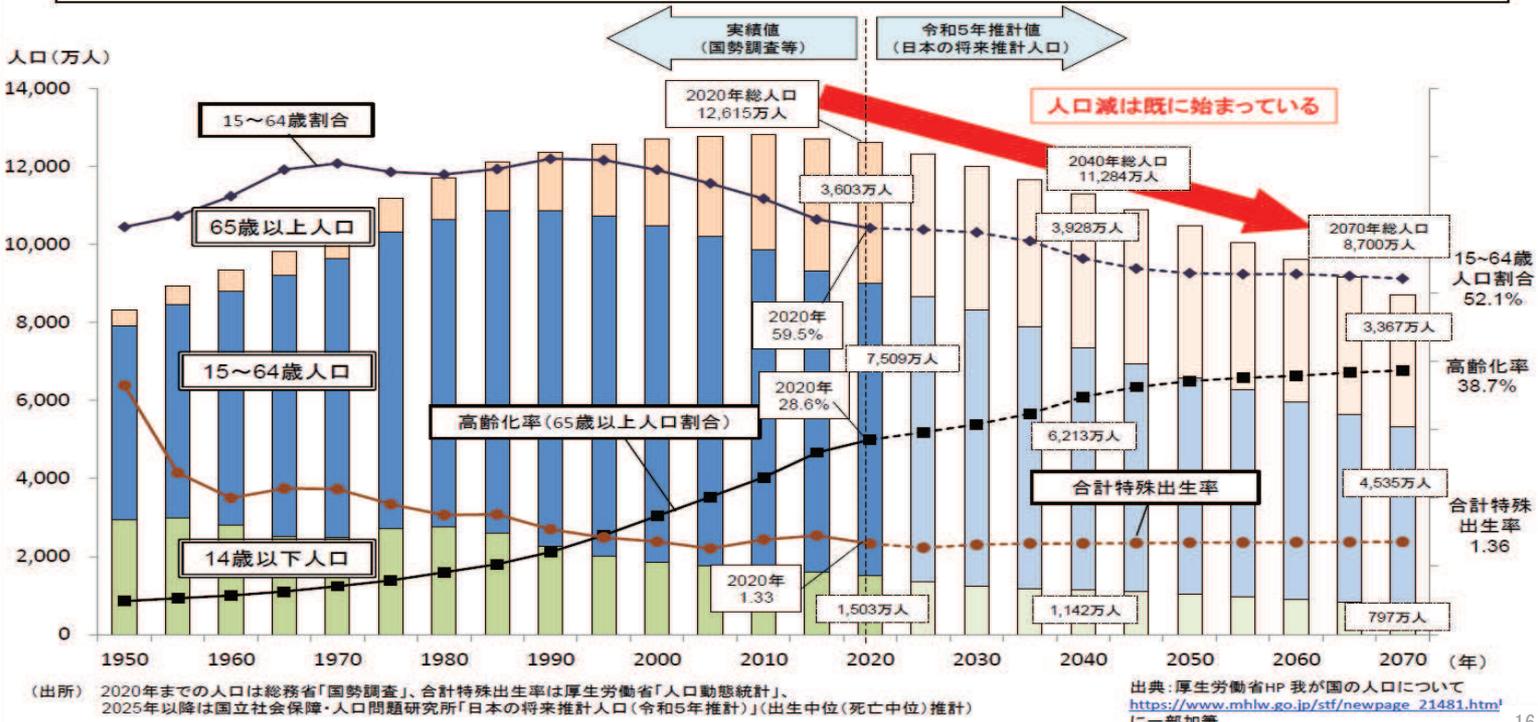
- ・ケース1(労働時間を週55時間に制限等) ≒年間720時間の時間外・休日労働に相当
- ・ケース2(労働時間を週60時間に制限等) ≒年間960時間の時間外・休日労働に相当
- ・ケース3(労働時間を週78.75時間に制限等) ≒年間1860時間の時間外・休日労働に相当



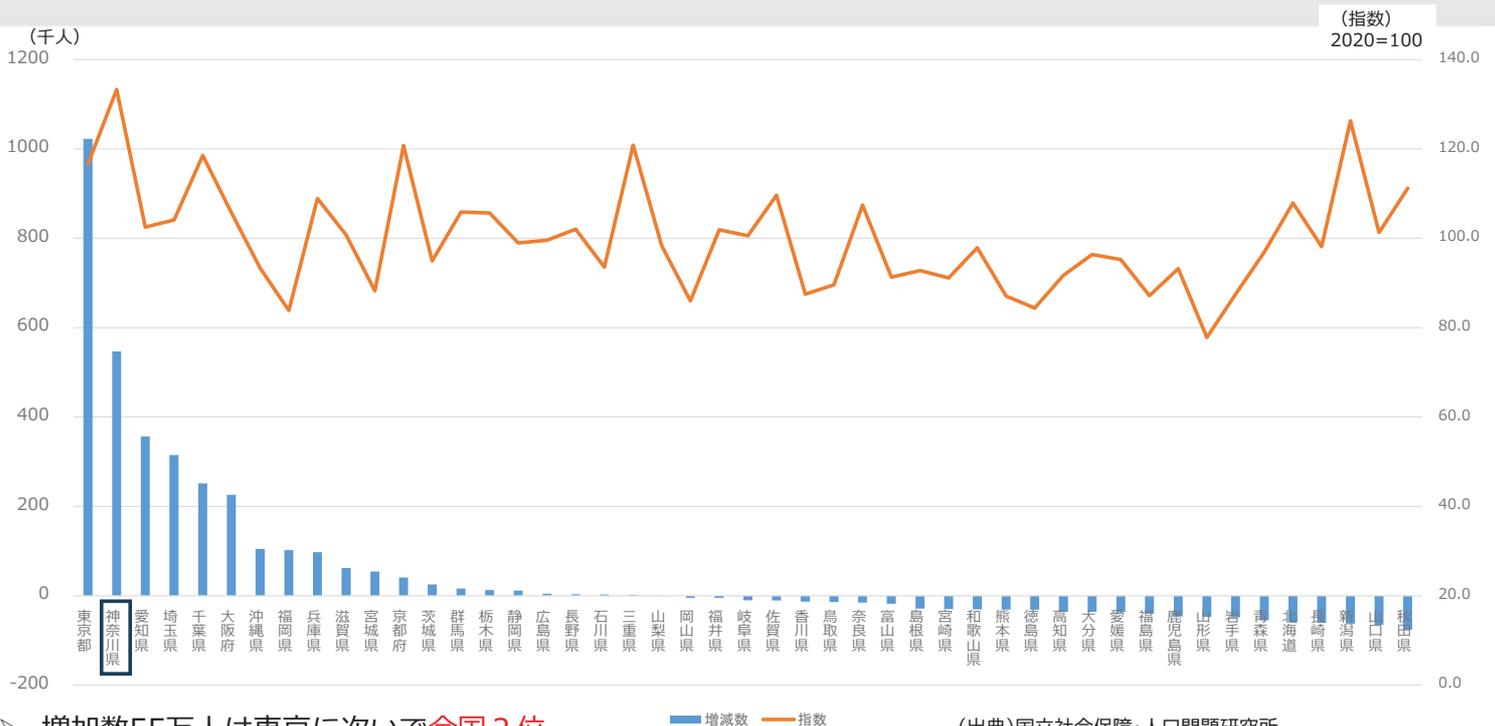
日本の人口の推移

第1回医師養成過程を通じた
医師の偏在対策等に関する検討会
令和6年1月29日 資料1

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



【参考】2020年と比較した2050年の65歳以上人口の増減数・指数（都道府県別）



- 増加数55万人は東京に次いで**全国2位**
- **増加率33%は全国1位**

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」

現状まとめ①（国の動向）

- 医学部の臨時定員増については、生産年齢人口の減少や医療需要の変化等の状況等を踏まえると、臨時定員数は頭打ちであり、今後、医学部の総定員数が増加することを想定するのは難しい。
- また、地域枠についても、国の検討会等において、臨時定員から恒久定員内への地域枠の設置を推進するための議論が行われている。

現状まとめ②（本県の状況）

- 臨床研修医については、関係団体や県内臨床研修病院等との取組により、近年はフルマッチに近い状態で推移している。
- 一方で、臨床研修医募集定員については、令和7年度定員までに研修希望者数の1.05倍を上限とするようになったことにより、今後、本県の臨床研修募集定員数の大幅な増加は見込めない。
- 今後は本県の高齢化の進展を踏まえると、臨床研修医の確保も重要である一方で、専攻医以降の年代の医師確保に向けた取り組みがより一層必要なのではないか。

次頁以降で専攻医採用に係るデータについて取りまとめ

2 県内の専攻医採用状況について

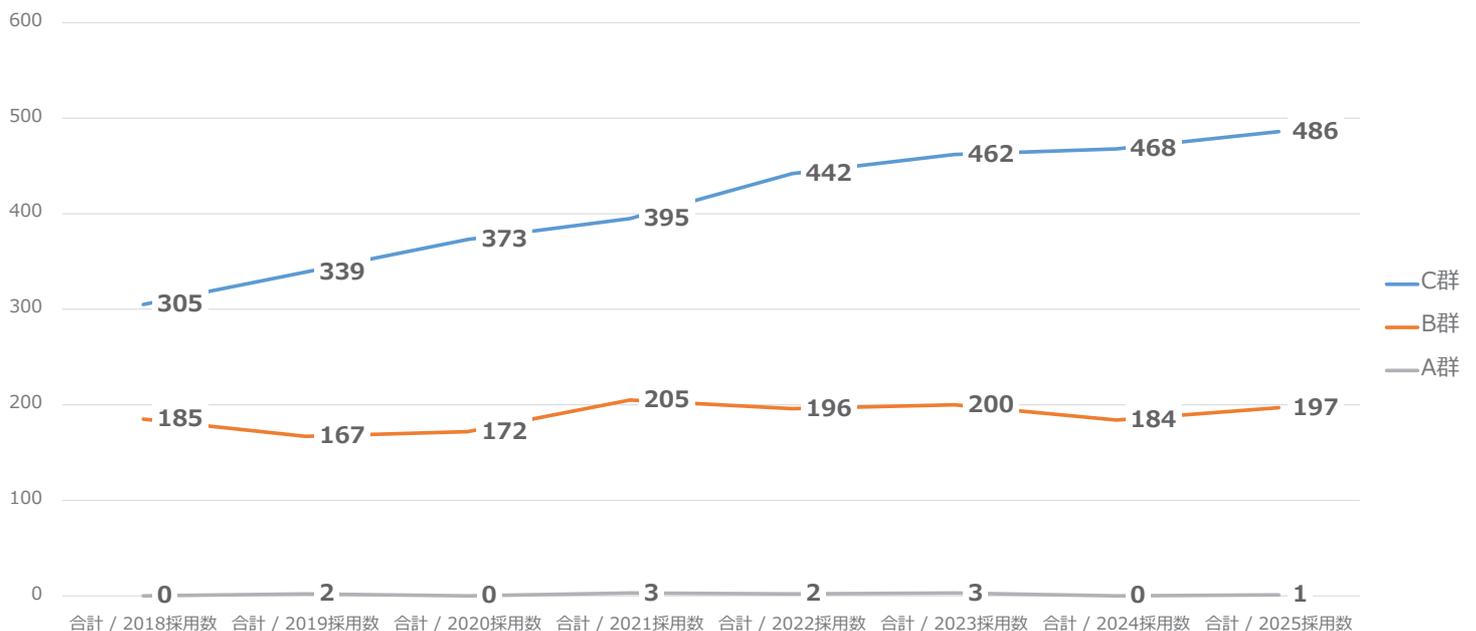
Kanagawa Prefectural Government

20

専攻医に関するデータ（経年推移）

○地域群ごとの専攻医採用数

（単位：人）



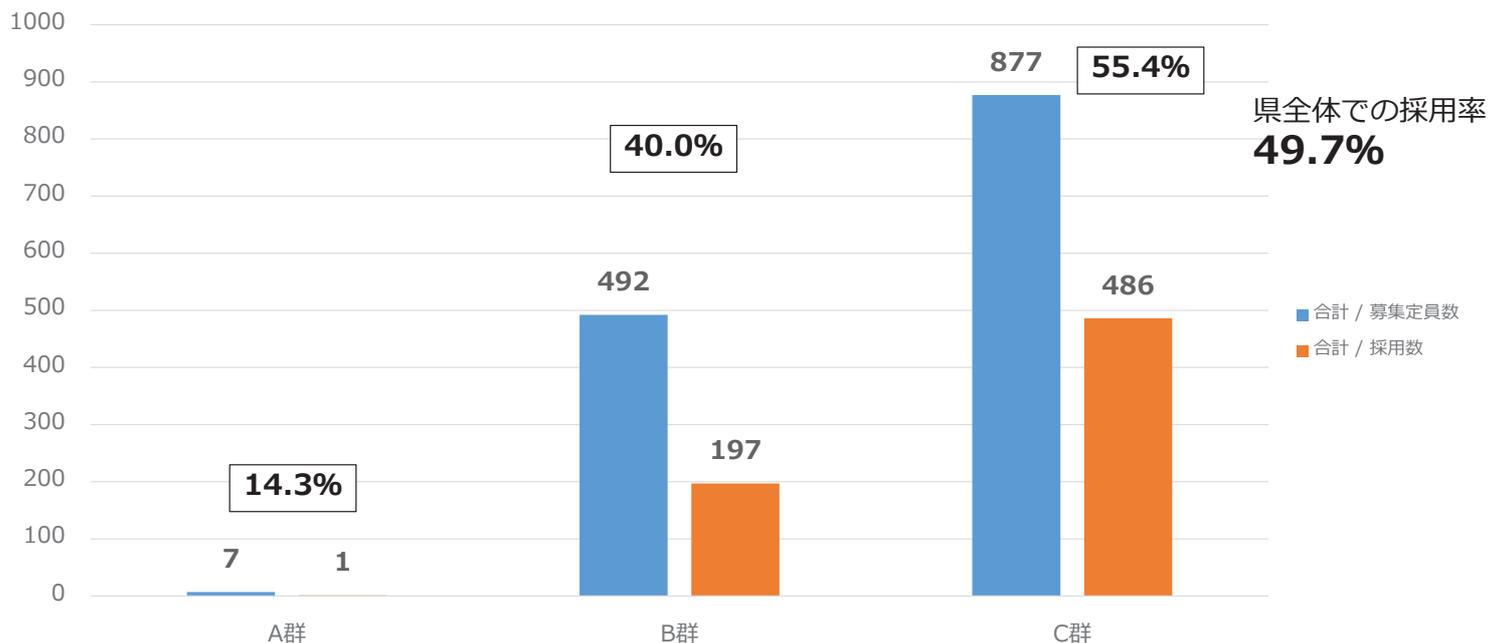
（出典）JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

21

専攻医に関するデータ（2025年）

○地域別の専攻医募集人数・採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数



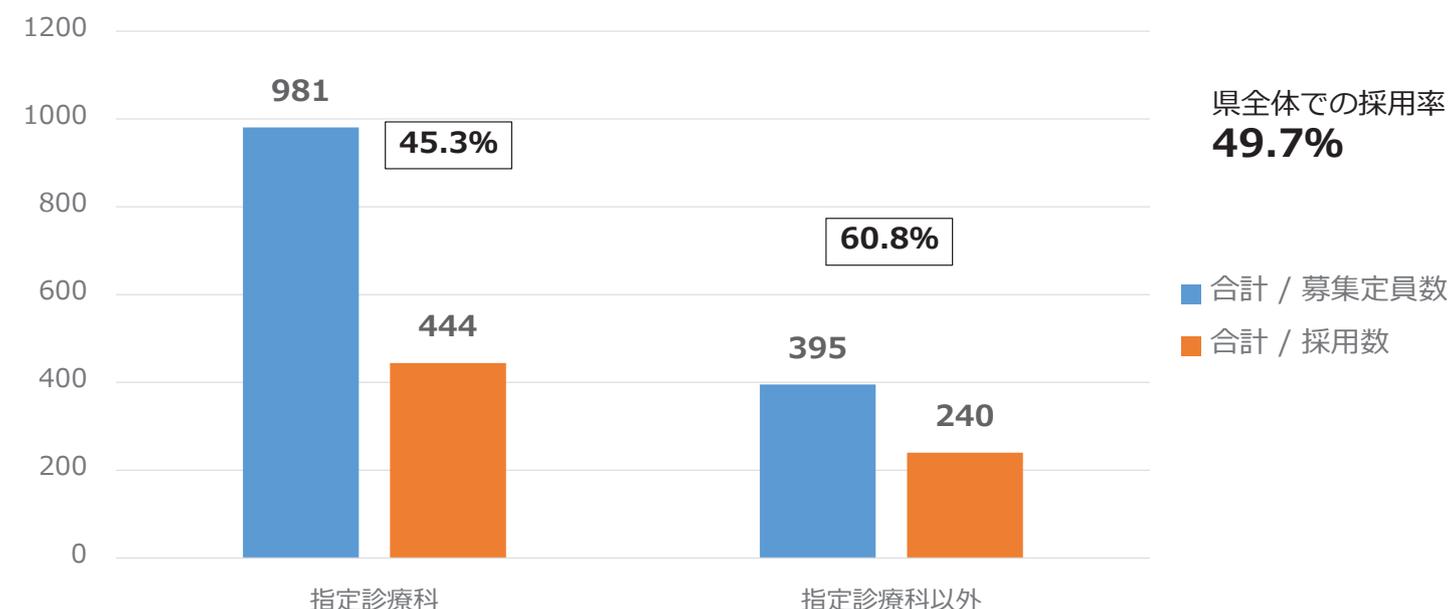
(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

22

専攻医に関するデータ（2025年度）

○指定診療科・指定診療科以外の定員と採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数



Kanagawa Prefectural Government

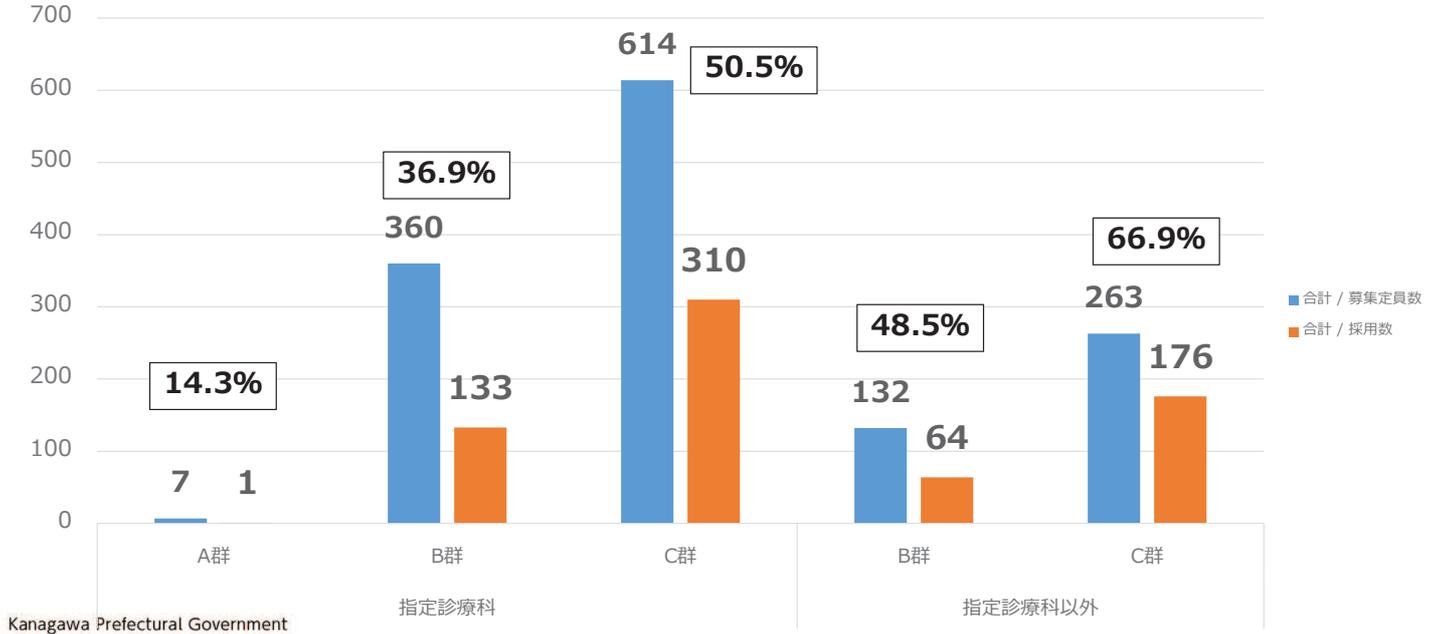
(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

23

専攻医に関するデータ（2025年度）

○地域群・指定診療科別の募集定員と採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数

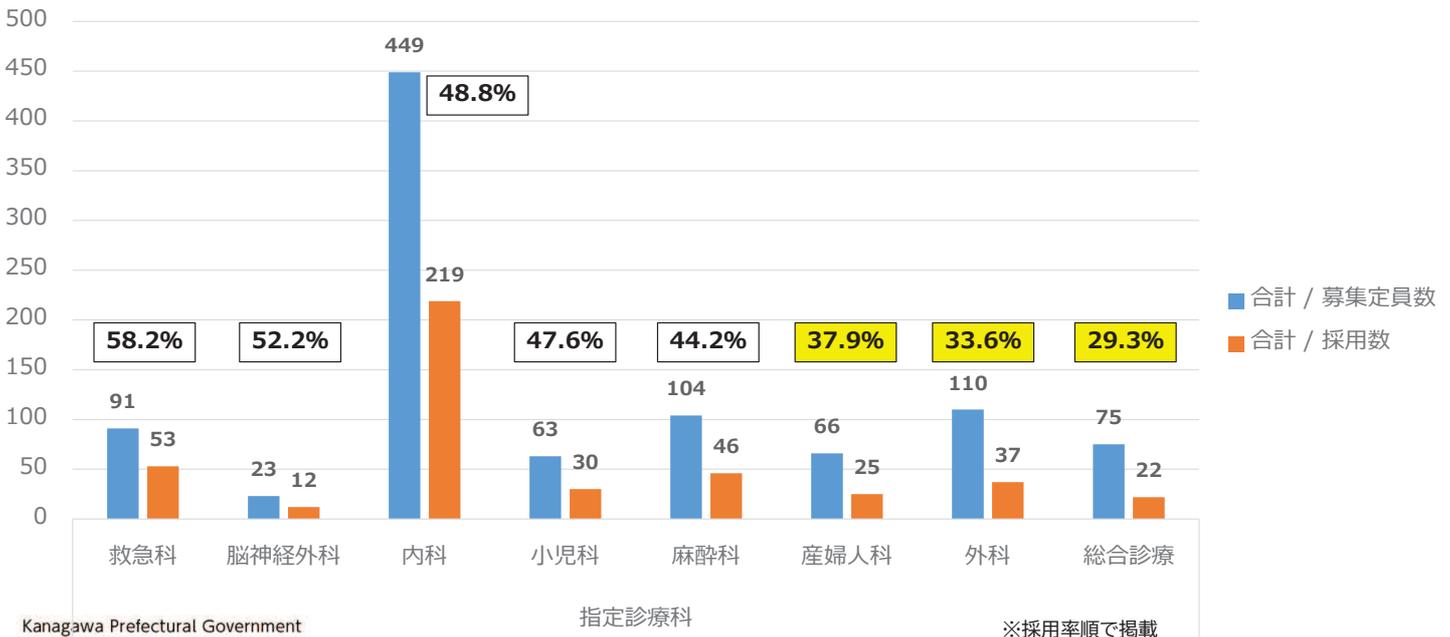


(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

専攻医に関するデータ（2025年度）

○指定診療科の定員と採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数

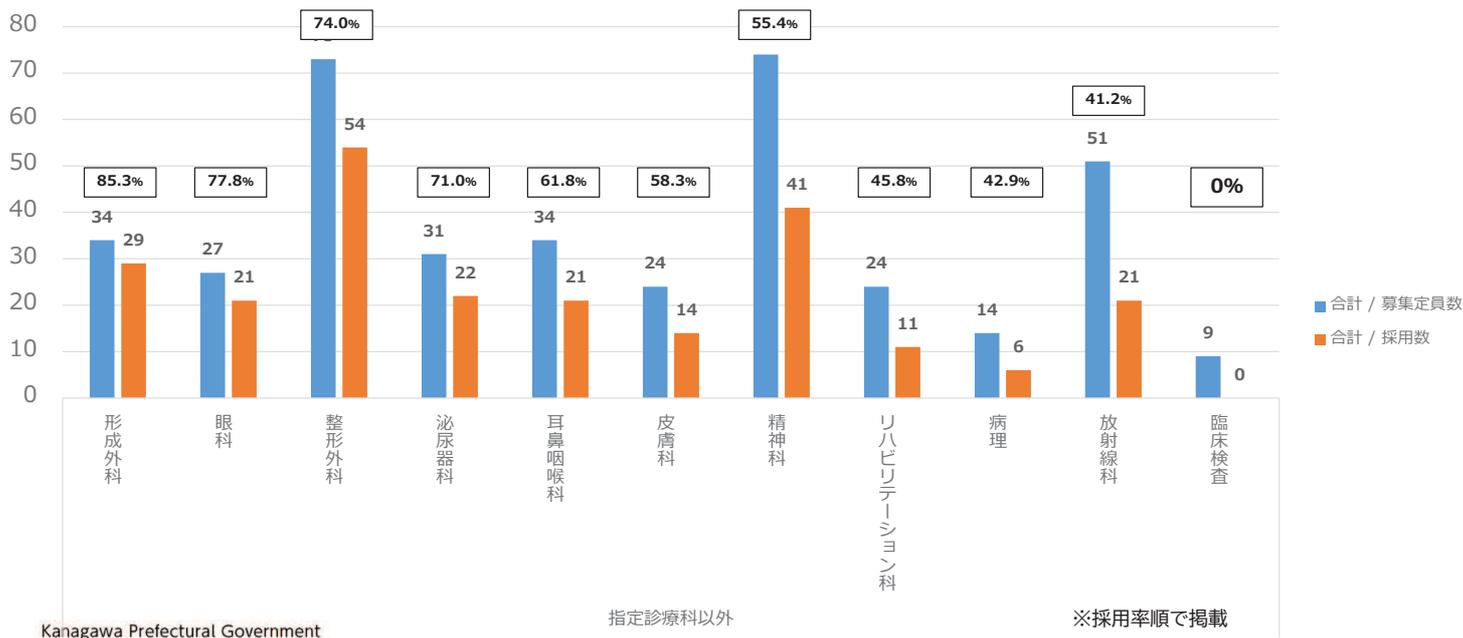


(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

専攻医に関するデータ（2025年度）

○ 指定診療科以外の定員と採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数

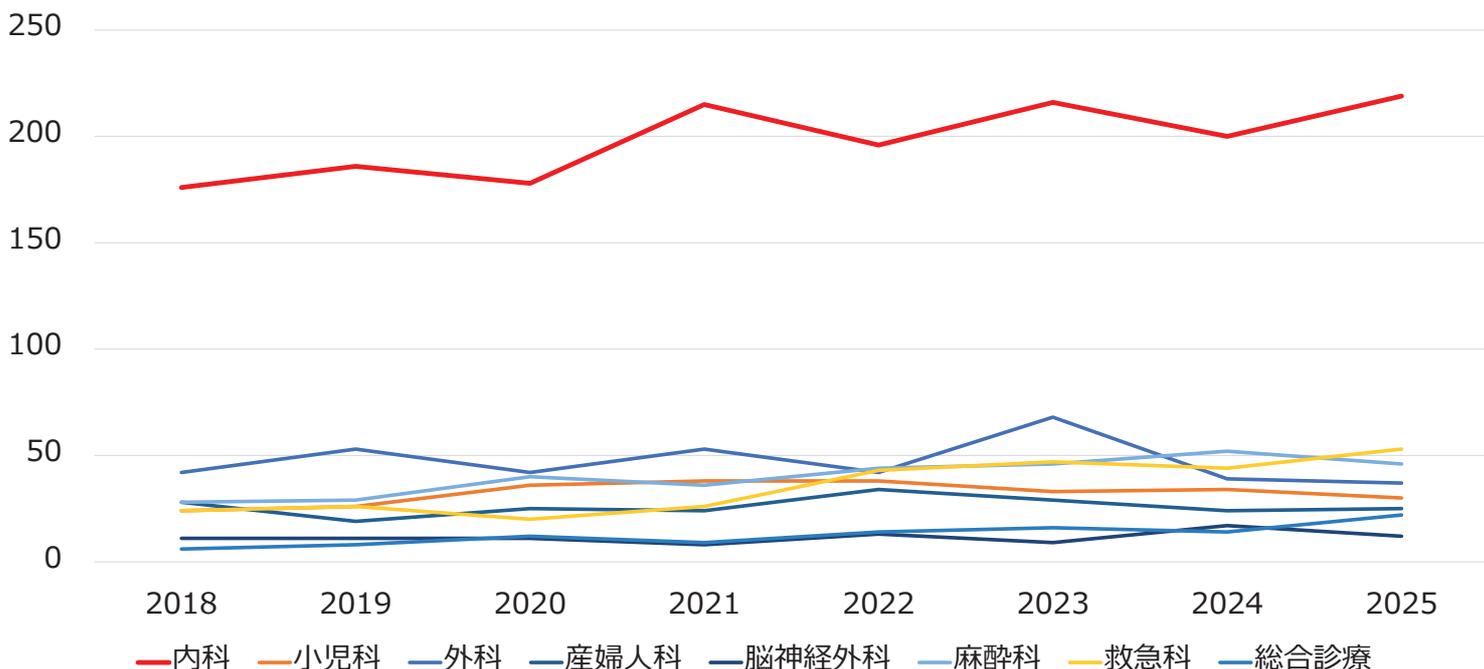


(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

【参考】 専攻医に関するデータ（経年推移）

○ 指定診療科の専攻医採用数

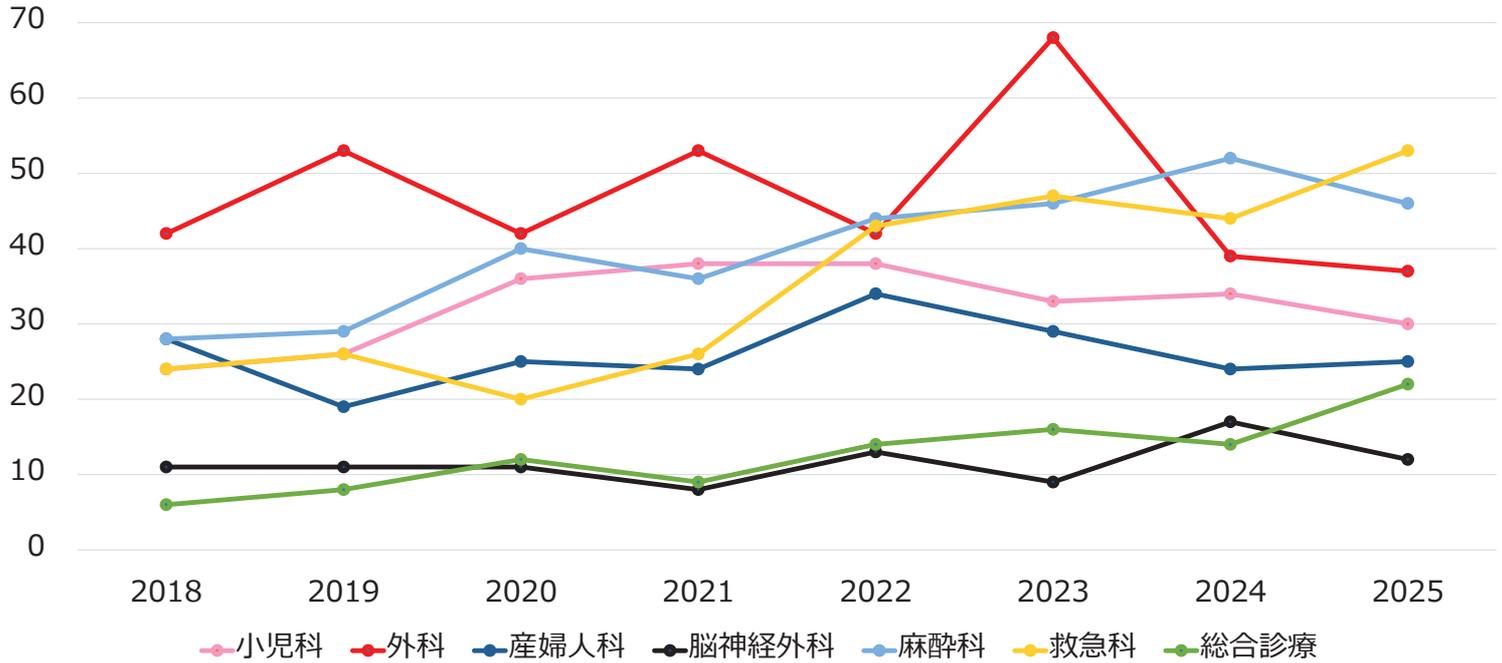
(単位:人)



【参考】専攻医に関するデータ（経年推移）

○指定診療科の専攻医採用数（内科以外）

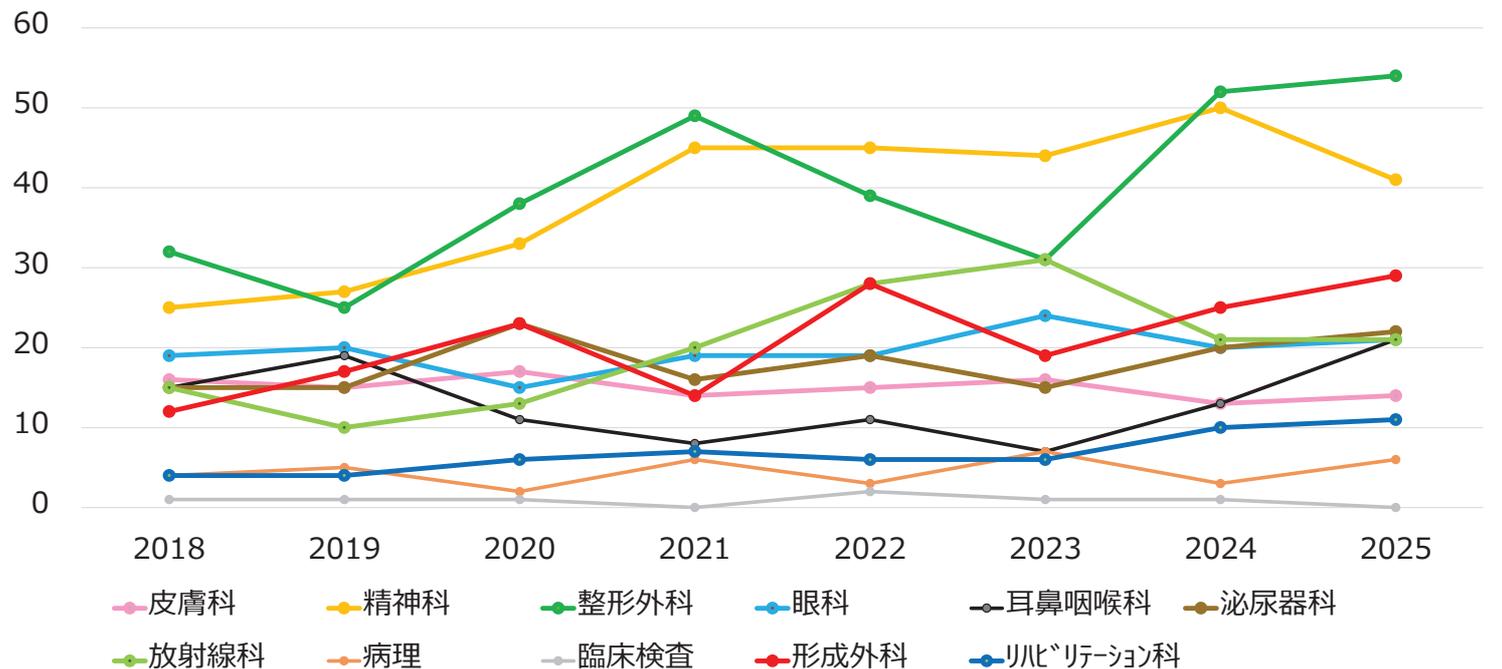
（単位：人）



【参考】専攻医に関するデータ（経年推移）

○指定診療科以外の専攻医採用数

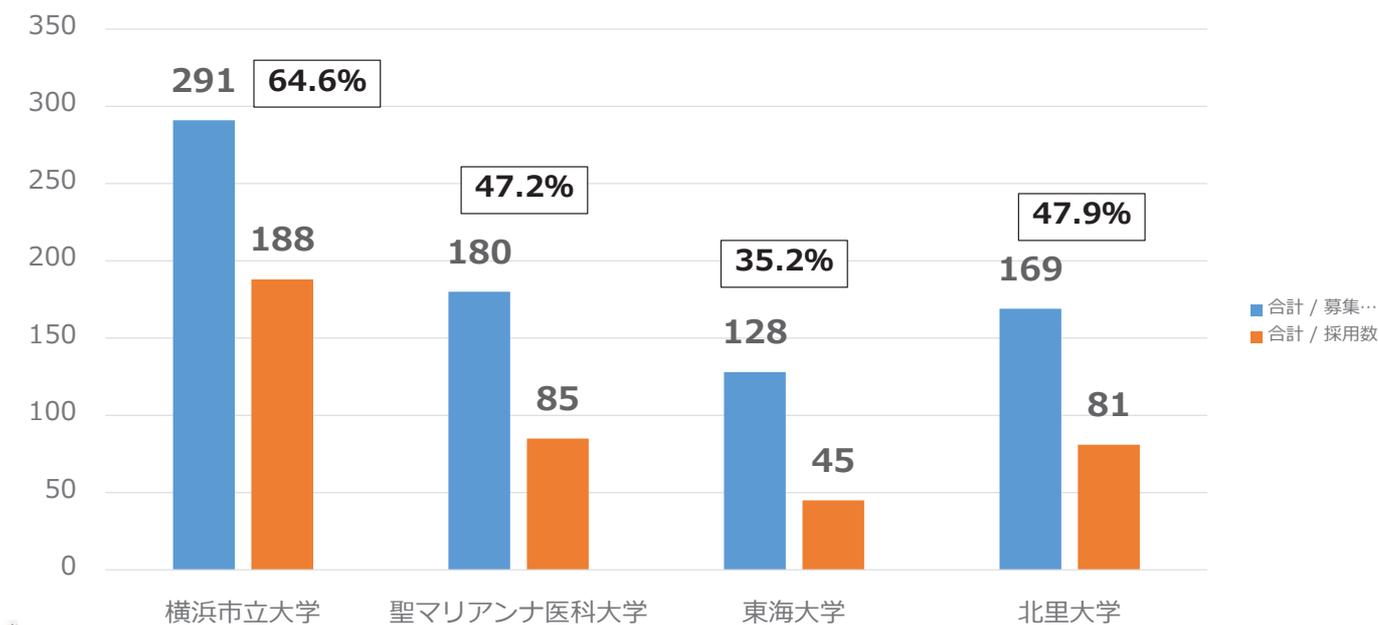
（単位：人）



専攻医に関するデータ（2025年度）

○ 4 大学病院の定員と採用数

(単位:人)
割合(%)は定員に対する採用数



※県内附属病院及び指定管理病院を含む

(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成

30

専攻医に関するデータ（まとめ）

【地域に関すること】

- 本県の専攻医採用数は年々増加しているものの、地域の内訳をみると **C群（横浜・川崎）の増加がそのまま本県の専攻医採用数の増加につながっている。**
- A,B群は7年間で明確な増加は見られず、**おおむね横ばいで推移している。**

【診療科に関すること】

- 指定診療科とそれ以外の診療科で比較すると、**採用率は15.3%と大きな差があった。**
- 指定診療科の中でも、**特に総合診療については採用率が30%に満たない。**

専攻医に関するデータ（まとめ）

【県内4大学に関すること】

- 県内4大学については、大学により採用数及び採用率に差がみられた。
- 診療科別の採用数については、診療科によって状況は異なるものの、総合診療については、全ての大学病院本院において定員は充足していない。

3 今後の医師確保の取り組みの方向性について

専攻医の確保に関する今後の方針（案）

【方針を検討するにあたっての前提】

（まとめや前提に関する留意点）

- 地域別・診療科別に医師の必要数を算定することは困難であることから、今回は専攻医の募集定員及び採用数に注目し、専門研修プログラムの定員に対する採用実績を指標として用いた。

（本県の状況や制度について）

- 本県の65歳以上人口は、2020年から2050年までにおよそ33%増加する見込みである。
- 本県の地域枠（指定診療科枠）については、診療科を8診療科に指定しており、「令和6年度版キャリア形成プログラム」については、卒後6年目以降にA,B群に配置することとしている。
- しかし、「令和6年度キャリア形成プログラム」については令和7年度入学者以降の医師が選択必須であり、実際に当該地域での勤務が開始されるのは10年以上後になる。
- なお、卒後9年間は法医学や公衆衛生等の臨床以外の領域を地域枠等の医師が専攻できない。

（専攻医採用状況について）

- 本県の専攻医の採用数及び採用率については診療科及び地域によって大きな差がある。
- 指定診療科の中でも、特に総合診療及び外科、産婦人科が採用数及び採用率が低い状況にある。
- また、県内4大学においても大学間で採用数及び採用率に大きな差がある。

34

専攻医の確保に関する今後の方針（案）

【今後の取組の方向性①】

- 前頁で記載のとおり、本県は大きく
 - ① 現状、専攻医採用に関する地域間・診療科間偏在が存在すること、
 - ② 今後、65歳以上人口の大幅な増加が見込まれていること、の2つの課題について、対応を検討する必要があるのではないか。
- ①の課題については現状のままでは偏在が拡大する可能性がある。
- 上記の課題について対応するためには、若手医師の確保、特に専攻医の確保が重要なのではないか。

次頁以降にて今後の取組の方向性について

35

専攻医の確保に関する今後の方針（案）

【今後の取組の方向性②】

- 前頁に記載の課題について対応するためには、若手医師の確保、特に専攻医の確保が重要なのではないか。
- 指定診療科のうち、総合診療及び外科、産婦人科の採用数及び採用率が特に低い状況にあり、特に総合診療の充足率は30%を下回っている。専攻医確保にあたっては、まずは上記3診療科が候補としてあるのではないか。
- 全て重要な診療科ではあるが、大幅に増加することが見込まれる高齢者への対応として、病院においても臓器専門ではなく、病院総合医のように横断的に対応することができる総合診療がより一層重要になってくるのではないか。
- 令和7年度から設置している寄附講座においても、在宅医療を含む総合診療の育成拠点を県西部に設置することを目的としており、連携をとれるのではないか。
- 自治医の配置方針の見直しも行っており、卒後3年目以降に足柄上病院で総合診療の研修を行うこととしている。

Kanagawa **まずは、総合診療の専攻医確保に向けた取り組みを検討・実施してはどうか**

36

専攻医の確保に関する今後の方針（案）

【今後の取組の方向性③】

- 地域医療を担う県内4大学の専攻医の確保状況も異なっている。
- 「特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会」の特定機能病院のあり方に関するとりまとめでも、「地域医療への人的協力」の記載があり、地域への医師派遣機能も求められていくこととなる。
- 地域に医師を派遣するためには、大学病院にも医師が在籍している必要があり、県内の相対的に医師が不足する地域（A,B群）の近隣に所在している大学の専攻医確保もより重要なのではないか。
- 県内の相対的に医師が不足している地域への専攻医確保、その後の地域への定着を見据えて、キャリア形成プログラムの地域医療実践期間（卒後6年目以降）のA,B群の「大学病院本院以外」の配置方針も見直すべきではないか。

Kanagawa Prefectural Government

37

専攻医の確保に関する今後の方針（案）

【今後の取組の方向性④】

- 専攻医の確保及びその後の地域定着のために、まずは以下の2つに絞って取組を進めてはどうか。

（診療科に関する取組）

- ① **総合診療の専攻医確保に向けた取組を検討してはどうか。**

⇒ **取組の方針は次頁に**

（地域に関する取組）

- ② **キャリア形成プログラムの卒後6年目以降（地域医療実践期間）の配置方針のうち、「大学病院本院を除く」の部分を見直してはどうか。**

⇒ **必要に応じて医療対策協議会において今後協議**

総合診療医の確保に関する今後の検討方法（案）

- 検討に当たっては4大学や医師会、病院協会をはじめとする総合診療に関する関係団体と**検討会を立ち上げ、今後の取り組みを検討してはどうか。**

- **検討会については、以下のようなメンバーで検討してはどうか。
なお、来年夏頃を目途に取りまとめを目指す。**

【検討会メンバー候補（案）】

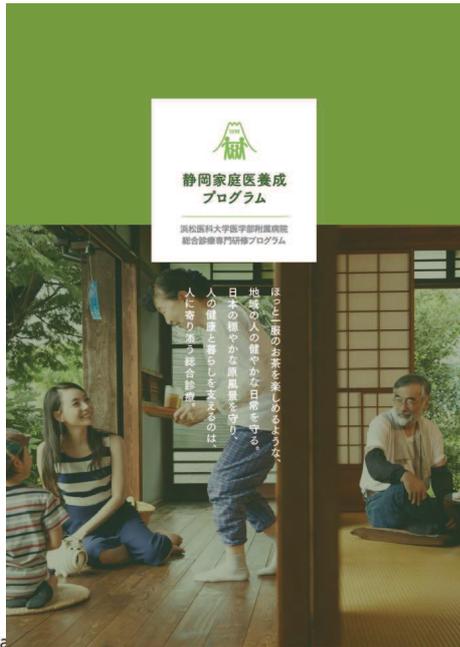
- ・ 4大学総合診療系教室・講座
- ・ 県立病院機構
- ・ 県医師会
- ・ 県病院協会

（オブザーバー等として）

- ・ 総合診療プログラムの基幹施設の医師 等

【参考】 他都県の取組

静岡家庭養成プログラム



Kanagawa

出典 : <https://www.shizuoka-fm.org/index.php>

東京総合診療推進プロジェクト

専攻医募集!
東京から、日本・世界で活躍できる
ジェネラリスト
総合診療医を目指しませんか?

いま総合診療医が注目されています

総合診療医は、特定の領域だけを診るのではなく、あらゆる年齢、性別の患者さんや家族や生活圏まで多角的に診て、さまざまな領域の専門家と連携し、その人に最適な医療を提供する医師です。高齢化により慢性疾患を持つ患者が増加している今、地域医療の維持・向上に貢献していく存在として期待されています。

東京都立病院機構が提供する
“東京らしい総合診療”研修プログラム

特長 1 都市型プライマリ・ケアの実践
特長 2 東京ならではの多様なチャンスの宝庫
特長 3 一人一人の“個性”を尊重する圧倒的な教育環境

詳しくは書面へ!!

地方独立行政法人
東京都立病院機構
Tokyo Metropolitan Hospital Organization

詳しくはコチラからも
お問い合わせください▶▶▶

出典 : <https://www.tmhp.jp/kikou/t-gap/index.html>

40

説明は以上です

資料 2

地域医療支援センターイベントについて

神奈川県 健康医療局 保健医療部
医療整備・人材課 人材確保グループ
令和 7 年12月 9 日

Kanagawa Prefectural Government

目次

- 1 地域医療支援センターのイベントについて
 - キャリア形成卒前支援プランについて
 - 実施しているイベント
 - ・ 県が実施しているイベント
 - ・ 県が共催・委託して実施しているイベント
 - ・ 県以外の団体が実施しているイベント
- 2 令和 8 年度のイベントについて

Kanagawa Prefectural Government

1 地域医療支援センターのイベントについて

キャリア形成卒前支援プランについて

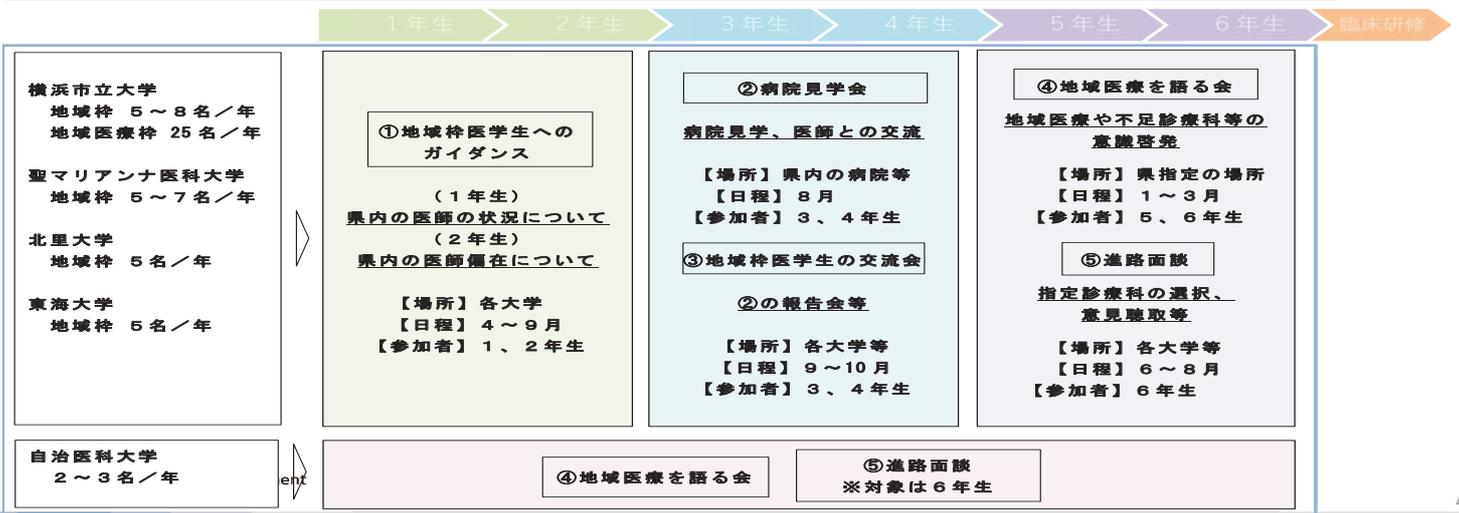
- 「キャリア形成プログラム運用指針」（令和3年12月1日一部改正）に基づき令和4年9月に「神奈川県キャリア形成卒前支援プラン」（以下、「卒前プラン」という。）を定めた。

神奈川県キャリア形成卒前支援プラン（医学部1年生～医学部6年生）

令和4年9月策定

各大学の教育カリキュラム

卒前支援プロジェクト ※ 県（神奈川県地域医療支援センター等）が実施



1-1 高校生向け地域枠制度説明会

- 令和7年度入学者から、**地域枠制度における卒業後の従事地域が一定期間指定される**ことに伴い、当該制度について理解を深めるとともに、新たなキャリア形成プログラムの魅力を発信するため、高校生とその保護者を対象に、県内4大学及び自治医大と合同で説明会を実施

| | |
|------|------------------------------|
| 日時 | 令和7年6月8日（日）13:00~16:00 |
| 会場 | かながわ県民センター 2階ホール ※オンライン併用 |
| 対象者 | 高校1~3年生とその保護者 |
| 参加者数 | 111名（オンライン参加 31名） |



| プログラム内容 | | 説明者 |
|--------------|------|-------------|
| 地域枠に関する制度説明 | 20分 | 保健医療人材担当課長 |
| 自治医大に関する制度説明 | 10分 | 保健医療人材担当課長 |
| 指定診療科に関する講演 | 20分 | 県CC |
| 質疑応答 | 10分 | 県CC、県担当者 |
| 各大学説明（5大学） | 各10分 | 各大学担当者 |
| 個別相談会 | 60分 | 各大学担当者、県担当者 |

Kanagawa Prefectural Government

5

1-1 地域枠医学生向けガイダンス

- 地域枠制度や神奈川県での医療の現状について知ってもらうため、県内4大学の地域枠医学生（1、2年生）を対象にガイダンスを実施

- ◆ 1年生 地域枠制度、キャリア形成支援について
- ◆ 2年生 神奈川県の医師偏在対策（キャリア形成プログラム）について

| 大学名 | 学年 | 日時 | 対象者数 |
|---------------------|-----|--------------------------|------|
| 横浜市立大学 （地域医療枠含む） | 1年生 | 令和7年5月28日（水） 17:15~17:45 | 33名 |
| | 2年生 | 令和7年5月28日（水） 18:00~18:30 | 33名 |
| 東海大学 | 1年生 | 令和7年5月30日（金） 16:45~17:15 | 4名 |
| | 2年生 | 令和7年5月30日（金） 17:30~18:00 | 5名 |
| 北里大学 | 1年生 | 令和7年6月9日（月） 17:00~17:30 | 5名 |
| | 2年生 | 令和7年6月9日（月） 17:40~18:10 | 5名 |
| 聖マリアンナ医科大学 | 1年生 | 令和7年6月16日（月） 17:30~18:00 | 7名 |
| | 2年生 | 令和7年6月16日（月） 18:10~18:40 | 7名 |

Kanagawa Prefectural Government

※実施日順

6

1-1 病院見学会

- 早期から地域医療の現場を知ってもらうため、見学を希望する学生を対象に病院見学を実施

| | |
|-----|--|
| 日時 | 学生の夏季休業期間（8月）において、各医療機関が指定する日時 |
| 会場 | 各医療機関 |
| 対象者 | 県内4大学の医学生（主に地域枠で入学した3、4年生） |
| 内容 | 各医療機関において、2～3時間程度の見学を実施 （OPE見学、指導医によるオリエンテーション、研修医との座談、院内見学、病院概要説明、質疑応答 など） |



| 大学名 | 参加者数 | 主な見学先 |
|------------|------|--|
| 北里大学 | 1名 | 横浜南共済病院、菊名記念病院、聖隷横浜病院、 関東労災病院、相模原協同病院、藤沢市民病院、 平塚市民病院、足柄上病院、小田原市立病院 |
| 東海大学 | 5名 | |
| 横浜市立大学 | 9名 | |
| 聖マリアンナ医科大学 | 1名 | |

※順不同

1-2 初期研修医セミナー

- 周産期医療に関心を持つ臨床研修医を対象に県内における産科医師の確保及び周産期医療への意識の涵養を目的として実施。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年11月1日（土）10:45～16:20 |
| 会場 | AP横浜 ※オンライン併用 |
| 対象者 | 臨床研修医 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学生に対するセミナー（キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演） ・ハンズオンセミナー（現地参加のみ） |

| 参加者 | 参加者数 |
|-----|------|
| 研修医 | 38名 |

※右冊子は令和6年度実施のもの



1-2 臨床研修病院合同説明会

- 全国の医学生を臨床研修医として神奈川県内に誘導し、初期臨床研修医の確保及び県内への定着を図ることを目的として実施。

| | |
|-----|---------------------|
| 日時 | 令和8年2月頃に4日間 |
| 会場 | オンライン開催 |
| 対象者 | 全国医学部学生 |
| 内容 | ・ 県内臨床研修病院PRのための説明会 |

| 参加者 | 参加者数 |
|------|----------|
| 参加学生 | 延べ6,797名 |

※右ガイドブックは令和6年度実施のもの



Kanagawa Prefectural Government

9

1-2 がっつり新生児セミナー

- 新生児医療に携わる若手医師の確保やモチベーション維持を目的として、新生児医療に興味のある医学生や臨床研修医を対象としたセミナー。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年11月1日(土) 10:45~16:20 |
| 会場 | ※オンライン併用 |
| 対象者 | 全国医学部学生、研修医 |
| 内容 | ・ 医学生に対するセミナー (キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演) ・ ハンズオンセミナー (現地参加のみ) |

| 参加者 | 参加者数 |
|-----|------|
| 学生 | 9名 |
| 医師 | 51名 |

※右チラシは令和6年度実施のもの

Kanagawa Prefectural Government

10

1-2 地域枠医学生交流会

- 学生同士の連帯感や相互に研鑽する意識を高めるため、各大学内の地域枠医学生が学年の垣根なく交流できる交流会を実施

| | |
|-----|--|
| 日時 | 下記のとおり |
| 会場 | 各大学キャンパス内 |
| 対象者 | 県内4大学の地域枠医学生 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学生に対するセミナー (キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演) ・グループディスカッション |



| 大学名 | 日時 | 参加者数 |
|----------------------|--------------------------|------|
| 北里大学 | 令和7年7月2日(水) 17:00~18:30 | 12名 |
| 聖マリアンナ医科大学 | 令和7年7月3日(木) 17:30~19:00 | 12名 |
| 東海大学 | 令和7年7月9日(水) 17:00~18:30 | 10名 |
| 横浜市立大学 (地域医療枠を含む) | 令和7年7月10日(木) 18:30~20:00 | 156名 |

Kanagawa Prefectural Government

※実施日順

11

1-2 神奈川の地域医療を語る会

- 県の地域医療の現状、特に県内の医師偏在(地域、診療科の偏在)の状況を認識してもらい、県内医療機関で従事するための意識の涵養を図る。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年10月23日(木) 18:00~20:20 |
| 会場 | AP横浜 ※オンライン併用 |
| 対象者 | 医学部学生 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学生に対するセミナー (キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演) ・グループディスカッション |

| 参加形態 | 参加者数 |
|-------|------|
| 現地 | 12名 |
| オンライン | 12名 |

Kanagawa Prefectural Government

令和7年度神奈川地域医療支援センターイベント事業

医師となるあなたへ 研修医が語る臨床研修の未来像 ～地域のフロントラインで働くということ～

参加費 無料

神奈川県では、県内大学出身者のキャリア形成を支援するため、「地域医療」をテーマに、将来地域医療を担う学生向けのイベントを行っています。

開催場所 ※現地開催のみ

AP横浜
〒220-0004
神奈川県横浜市内西区北幸2-6-1
ONEST 横浜西口ビル 6F

日時
令和7年
10月23日(木)
18:00~20:20(受付開始17:20)

定員
先着100名 (定員決まり次第終了)

お問い合わせ先

※本イベントは神奈川地域医療支援センター主催・共催です。お問い合わせ先は、主催者である本センターです。
TEL: 03-4543-6103
MAIL: info@kanagawa-medical-support.or.jp
【平日(月~金) 10:00~17:00】【土曜・日曜・祝日を除く】
※本イベントは神奈川地域医療支援センター主催・共催です。お問い合わせ先は、主催者である本センターです。
TEL: 03-4543-6103
MAIL: info@kanagawa-medical-support.or.jp
【平日(月~金) 10:00~17:00】【土曜・日曜・祝日を除く】

セミナー内容

18:00~18:15 開会挨拶
18:15~18:35 神奈川県内の臨床研修について
講師：足柄上病院 野口 紗水 医師
18:35~19:05 神奈川県内の臨床研修について
講師：横須賀市立総合医療センター 青木 沙弥佳 医師
19:05~19:15 休憩
19:15~19:45 神奈川県内の臨床研修について
講師：開成労務病院 太田 哲史 医師
19:50~20:20 質疑応答・連絡事項等

会場で研修医に直接話が聞ける

講師：野口 紗水 医師 研修医1年目
神奈川県足柄上病院(横浜府立大学出身)

講師：青木 沙弥佳 医師 研修医1年目
横須賀市立総合医療センター(東海大学出身)

講師：太田 哲史 医師 研修医2年目
開成労務病院(横浜府立大学出身)

申込はこちらから
表紙の二次元コードから
応募希望を登録してください
※

12

1-2 医師不足診療科に関する意識啓発セミナー

- 県内で医師の養成が特に求められる指定診療科の業務内容やその魅力等の情報発信を行い、医学生・医師がスムーズに診療科の選択が行えるよう支援する。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年11月1日(土) 10:45~16:20 |
| 会場 | AP横浜 ※オンライン併用 |
| 対象者 | 全国医学部学生、研修医 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学生に対するセミナー (キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演) ・ハンズオンセミナー (現地参加のみ) |

| 参加形態 | 参加者数 |
|-------|------|
| 現地 | 12名 |
| オンライン | 12名 |

Kanagawa Prefectural Government

1-3 医学生、研修医等をサポートするための会

- 女性医師のキャリア形成と継続支援を目的に、医学生や研修医など若い世代へ男女共同参画やワークライフバランスの啓発を行っている。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年1月30日(木) 18:30~ |
| 会場 | 総合医療会館1階 会議室AB |
| 対象者 | 医師、研修医等 |
| 内容 | 若い世代の医師や医学生に向けた、先輩医師からのキャリアや働き方についての講演 |

| 参加者 | 参加者数 |
|------|------|
| 医学生 | 19名 |
| 若手医師 | 6名 |
| その他 | 29名 |

※右チラシは令和6年度実施のもの

Kanagawa Prefectural Government

1 - 3 神奈川県初期臨床研修医総合オリエンテーション

- 神奈川県内の臨床研修施設において臨床研修を行う医師に対して、充実した研修を行うことにより、県民の医療の向上や地域医療連携推進の一助となり、研修会を通じて研修医相互の連携を図る

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年4月4日（金）15:30～17:05 |
| 会場 | Web形式 |
| 対象者 | 1年目臨床研修医 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学生に対するセミナー（キャリアパスについて、地域枠の先輩医師からの講演） ・ハンズオンセミナー（現地参加のみ） |

| 参加者 | 参加者数 |
|-------|------|
| 臨床研修医 | 561名 |

令和7年度初期臨床研修医総合オリエンテーション プログラム

開催日時：令和7年4月4日（金）午後3時30分
開催方法：Web（ZOOM）形式 配信先：神奈川県医師会（県総合医療会館2階災害救護本部室）

（司会・進行）
神奈川県医師会 理事 久保田 健

| 時間 | 号 | 項目 | 演 講 者 | 講師等 |
|-------------|----|----------|-----------------------------|--|
| 15:30～15:33 | 5 | 開会挨拶 | | 神奈川県医師会 会長 菊岡 正和 |
| 15:33～15:38 | 5 | ビデオメッセージ | | 日本医師会 会長 松本 吉郎 |
| 15:38～15:48 | 10 | 講 義 | 神奈川県の地域医療現況（仮） | 神奈川県医師会 理事 磯崎 哲男 |
| 15:48～16:13 | 25 | 講 義 | 研修医が知っておきたい診療報酬ABC（仮） | 神奈川県医師会 理事 藤島 寿樹 |
| 16:13～16:43 | 30 | 講 義 | 医療安全対策 ～医療紛争にならないために～（仮） | 神奈川県医師会 会長 菊岡 正和 神奈川県立医療センター理事長 橋本純也（仮） |
| 16:43～16:58 | 15 | 講 義 | あつてよかった ～開った時の医師会～（仮） | 神奈川県医師会 理事 小松 野一郎 |
| 16:58～17:03 | 5 | ビデオメッセージ | | 日本医師会 副会長 森池 敏 |
| 17:03～17:05 | 2 | 閉会挨拶 | | 神奈川県医師会 副会長 栗比苗 孝 |

2 令和8年度のイベントについて

令和8年度イベント実施に係る基本方針（案）について

- 令和8年度の県実施イベントについても、**卒前プランに基づき実施する。**
- 県や関係団体もイベントを複数実施していることから、**連携をできる部分から連携してはどうか。**
 - ・ 例えば、大学の診療科医局・教室等や関係団体とはどのような連携をすることができるか。
- 専攻医確保対策のために、イベントを実施してはどうか。
 - ・ 例えば、総合診療や外科、産婦人科など、指定診療科の中でも、どのような診療科が考えられるか。

説明は以上です。